

On-line HDFにおける旭化成クラレメディカル社製ダイライザーAPS-18ELの性能評価

上尾中央腎クリニック透析技術科¹⁾, 上尾中央総合病院内科²⁾

○樋口 正廣¹⁾, 峰岸 沙由香¹⁾, 押田 雅絵¹⁾, 太田 恵¹⁾, 渡邊 ますみ¹⁾, 佐藤 典明¹⁾,
遠藤 清文¹⁾, 後藤 哲司¹⁾, 高雄 泰行²⁾

【目的】旭化成クラレメディカル社製ダイライザーAPS-18ELをOn-LineHDFにて使用し、溶質の除去性能を評価する。

【対象・方法】維持透析患者15名に対し、V型ダイライザーAPS-18EL(以下EL)とIV型ダイライザーAPS-18SA(以下SA)をクロスオーバーにて使用し、溶質除去性能を比較した。UN、Cre、IP、 β 2-MG、 α 1-MGのクリアランス、除去量、クリアスペース、アルブミン漏出量を測定した。

【結果】UN、Cre、IPの除去能について差異は認めなかった。一方 β 2-MGの除去率はELがSAより高く、 α 1-MGの除去率はELがSAより有意に高かった。Alb漏出量はELがSAに比べ有意に高かった。

【結語】ELは小分子量物質除去能はSAと同等であるが、 β 2-MG、 α 1-MGなどの低分子量蛋白の除去能はSAより優れているダイライザーであることが確認された。